

アカバキリガ

幼虫は6月に広葉樹の葉を食べる。最大長約40mm。頭は小さなときは黒色、大きくなると赤茶色。葉を袋状に糸でつづり合わせて、その中にいる。

サクラなどでときどきみられる。害虫図鑑などに載っていることがあるが、少なくとも北海道では多発記録はない。



1. 中齢幼虫，体長25mm。1989/6/29.

美唄市，シラカンバ.



2. 幼虫の巣。1989/6/15.

美唄市，？シラカンバ.



3. 終齢幼虫，体長25mm。1990/7/6.

新得町，ミズナラ.



4. 雄成虫，体長15mm.

1を飼育.

【学名】 *Orthosia carnipennis*

【分類】 チョウ目 (Lepidoptera) , ヤガ科 (Noctuidae)

【分布】 北海道，本州，四国，九州；アムール，中国，朝鮮半島，台湾.

【特徴】

幼虫は終齢で体長30～40mm。頭部は若～中齢では黒色，終齢では赤褐色で前方が暗い。体の色彩は中～終齢であまり変化しないが，中齢では赤味が弱い。類似した幼虫はない。

【生態】

幼虫の食樹としてブナ科（クヌギ，カシワ，コナラ），バラ科（サクラ，ナシ，リンゴ），ニレ科（エノキ）などが記録されている。北海道ではシラカンバ，ウダイカンバ，ミズナラから採れた。

年1化。成虫は3～5月に出現，幼虫は5～6月に出現，蛹越冬という。北海道の低地や低山地では6月下旬に中～終齢幼虫が採れ，飼育したところ7月中旬に繭を作り，翌春に成虫になった。幼虫は葉を縦に2つ折りし，内側を糸で厚く綴って，その中にいる。

【文献】

1958. 江崎悌三ほか. 原色日本蛾類図鑑（下）:I-V, 1-303, pls 65-136. 保育社, 大阪.
1965. 一色周知監修. 原色日本蛾類幼虫図鑑（上）:1-238, pls 1-60. 保育社, 大阪.
1982. 井上寛ほか. 日本産蛾類大図鑑. Vol. 1: 1-968; Vol. 2: 1-556, pls 1-392. 講談社, 東京.
1987. 杉敏郎編集. 日本産蛾類生態図鑑: 1-453, pls 1-120. 講談社, 東京.

北海道立林業試験場・緑化樹センター

アカバキリガ yaga/akabaki/
kaisetu.htm

「文章」原秀穂, 北海道立林業試験場, 1992/3/2.
yochu/jpg, yochusu.jpg, 1yochu.jpg, 1seichu.jpg

「写真1～4」原秀穂, 北海道立林業試験場, 1989-1990.